

支部のトピックス(北陸支部)

官民連携による将来の担い手確保に向けた取組み

北陸支部では、建設コンサルタント業界の将来の担い手を確保するため、中等教育時(中学・高校)や高等教育時(大学)などのアイデンティティ形成や職業選択を決定する重要なタイミングの生徒・学生たちをターゲットに、発注者や建設関係の協会と連携・協働して、建設業の魅力や仕事のやりがいなどを広く発信する取組みを行っています。

取組事例① 土木出張PR ～中学生・高校生に建設業の魅力・やりがいを知ってもらう～

新潟県内の中学校と高校を対象に、建設コンサルタントの仕事内容や魅力について、PR 動画などを用いた講義や漫画パンフレットの配布を行っています。この取組みは、新潟県、(一社)新潟県建設業協会、(一社)新潟県測量設計業協会と協働で2016年度から継続的に実施しており、2022年度は中学校35校、高校2校(延べ約2,200人)で実施しました。

～ 参加した生徒の感想 ～

- 土木といったら工事というイメージが強かったけど、設計や測量など1つ1つ分かれていて驚きました。
- 建設コンサルタントという仕事を始めてきたので、もっと話を聞きたいと思いました。
- 女性の人も働いていて、活躍できる機会もあるのでとても感心しました。



< 中学生への講義の実施状況 >



< 高校への講義の実施状況 >

取組事例② 官民連携による建設業界説明会 ～就活生に建設業で働くイメージを持ってもらう～

新潟県内の大学を中心に、就職活動を目前に控える学生などに対して、建設業界における官民の役割や業務内容などに関するオンライン説明会を行っています。この取組みは、国土交通省北陸地方整備局、新潟県、(一社)新潟県建設業協会と協働で実施しており、各機関から若手職員が参加して学生からの質問に回答することで、建設業界で働くことに対するイメージを持ってもらうきっかけづくりを行っています。



< 官民が協働した説明会の実施状況 >